

J R東日本労働組合

秋田ジャーナル

J R東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ~ 笹渕 太郎

編集者 ~ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら!

続 春闘アンケート [秋田の声]

① 2021春闘に対する想いについて



成果が視えないのに やりがいって...

我々社員の労働の対価は賃金であり、仕事のやりがいや達成感、責任感ではない。やりがい搾取はうんざりだ。人材費を削減する会社に付いていきたいと思う社員はいない。人件費を削減する会社に入社したいと思う学生はいない。社員を守ることが次代のため、会社存続のために必須である。

コロナ禍の赤字は大変だと思うが、経済の為にベースアップが欲しい。仕事の質も量も上がっている社員の努力に応じて欲しい。

世界を目指す企業としては、定昇2等級、ベースアップゼロ回答は、株主から経営陣の力量を問われると思う。長期的な会社運営の上で多くの課題を残したと思う。

JR 各社ベースアップゼロ回答、まだ理解できるが、東日本だけ昇給半分は納得いかない。

定期昇給 2号俸のみの妥結に至った事については、コロナ禍の会社の経済状況からして仕方ないのかなと思う反面、若手労働者には将来の生涯所得にも関わる重大事項なので、当局発表の前に社員全員に事前周知して欲しかった。

業務が好調な時でもベアは「雀の涙」。定期昇給が半分でも「少しでも上がっただけよしとしよう」という若手社員。春闘とは何か？組合無所属社員に今一度考えてもらいたい。

我々がやらなければ誰がやる。手当は減、このままでは定昇もなしになりかねない。私はもう終わりに近いが、次世代の組合員の為にも頑張らなければならない。会社の命で通常の勤務をしているのに、なぜ給料は下がるのか。

まだまだまだ集まる労働者たちの声!

② 赤字下における企業活動と 会社施策の点検について

赤字下を名目に勤務形態や業務の効率化を今以上に推し進めてくると想定されるが、今行われている施設内のレイアウト変更、ジョブローテーションなど、投資以上の収益、成長が見込めるとは思えない(社員の働き甲斐、幸福を含めて。)

緊急事態宣言下での首都圏や地方都市への研修目的の出張は本当に必要なのか。コロナ拡大よりも大事?

コスト削減で検修部品の新品、取替えの見直しを行っているが、部品の性能や劣化など現場社員の意見を聞いてから判断してもらいたい。

室内等、改良しても、短い期間でまた直したり使わなくなっていることがよくある会社だと思う。

保線の現場の人はテレワーク出来ない時が多い。その分賃金でもらいたい。

③ コロナ禍における労働環境の 点検行動と改善する取り組みについて

乗務員対策何か...



コロナ対策で休憩場所のリニューアルが行われ、折り返し時ゆっくりと休憩出来る区が少なくなった。コロナ対策の対策感があり、今一度引き締めが必要と思われる。特に秋田運輸区は、東京乗り入れも有るので特に。

コロナ禍でも手当もなく、危険を感じながら仕事をしている。マスク着用手指消毒のみでは納得いかない。

自分が感染し、職場や家族に感染が広がったらと思うととても不安である。こまち乗務員にワクチンの先行摂取をお願いしたい。

感染した「人」が死んでいる事の重大性が軽んじられていると思われる。新幹線の交検でも換気がしっかりしているから大丈夫だけではないのか?